

# 吉野中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:令和4年8月23日(火)18:00~19:00

場所:北部保健センター

令和4年12月  
鹿児島市 市民協働課

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	どんぐり子育てサークル	<p>① 公立校で不登校になり、フリースクールに通う子どもにとって、「自分は学校に通っている」という認識であるのに対し、在籍している小中学校では欠席扱いとなる。高校入試の入学時面談で、欠席扱いとなっていたことを知り、ショックを受けた経験もある。</p> <p>フリースクールでは、子供の個性に応じた対応してくれる。公立校に戻るためにフリースクールに通うのではなく、子供の居場所としてフリースクールを選択している。</p> <p>市教育委員会と市内のフリースクールとの交流会が開かれ、出席扱いにする方向で少しずつ変わってきているようだが、判断は校長先生に一任されており、学校によって差がある。</p> <p>文科省から、子どもの居場所としてフリースクールを認める指針も出ている。また、他の自治体でも、熊本市のように全市的に出席を認めるところもある。</p> <p>フリースクールに登校すれば、在籍する公立学校で出席扱いにしてほしい。</p>	<p>① 子どもによって特性は違っており、なるべく一人一人の個性・特性に合った教育を提供することが重要であると考えている。</p> <p>教育課程で要求されている水準を満たしているのであれば出席を認めたいと考えるが、一方で文科省から通知が出ており、出欠の判断は各校長であるということ、そして、出欠を認める要件として円滑な学校復帰が可能となるような個別指導等の適切な支援を実施していると評価できる場合、と示されている。</p> <p>この通知との兼ね合いをどこまでとれるか、ということになる。熊本市の事例もご紹介いただいたので、確認しておきたいと思う。</p>	教育委員会	<p>【教育委員会】</p> <p>熊本市教育委員会に確認したところ、全市的に出席を認めることはしておらず、文科省通知に基づいて各校長が判断しているとのことであった。また、教育委員会から各学校へ文部科学省通知の内容を周知し、出席扱いがなされていない児童生徒については教育委員会から当該学校へ個別に状況を確認するなど、本市と同様の対応がなされていた。</p> <p>今後とも、児童生徒へのよりよい支援のために、学校と家庭、フリースクール等との一層の連携が図られるよう、努めてまいりたい。</p>
2	どんぐり子育てサークル	<p>② フリースクールに通うには、多額の学費を納める必要がある。多くの不登校の子がいるのに、学費が高くて通えず、不登校のまま問題が解決しないケースが多々ある。</p> <p>家計の負担になっていることから、行政で補助をしていただけないか。</p>	<p>② 少人数教育ということで一人当たりの費用が大きくなると思う。色々な要望があることは存じ上げている。</p> <p>私学助成全般、教育施設に対する助成には大きなハードルがある。憲法の規定で、公金を支出できるのは教育が公の支配に属する場合となっており、この「公の支配」が難しいところである。例えば私立学校へ助成ができるのは、指導者の資格や施設について厳しく条件が決められており、学校法人の運営がひどい場合には解散命令が出せるとなっている。</p> <p>これは国の話になるが、おそらくフリースクールに補助を出すとするならば、どのような場合に解散命令を出せるかといった縛りを設ける必要が出てくる。逆に言えば、縛っていないところには公金を出してはいけない、というのが憲法の立て付けである。国のほうで、どこまでフリースクールの自由を認め、どこまで縛っていくのか、ということとの兼ね合いになってくると思う。</p> <p>その他の事例については、こちらで研究させていただきたいと思う。</p>	教育委員会	<p>【教育委員会】</p> <p>市長回答のとおり。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	川上小学校PTA執行部	<p>③ 川上小学校の児童がいる家庭では、町内会加入率が3～4割程度で低い現状にある。新しい住宅地ができて、加入してもらうことはなかなか難しい。</p> <p>加入された方に加入した理由を聞くと、ゴミステーションの問題があるからというのが一番の理由である。地域の中で周りの人に助けられているのも事実である。町内会の良さが若い世代に浸透していないように思う。どうしたら若い世代が加入してくれるか検討がなされていないように感じる。また、若い共働き世帯にとっては、町内会活動が時代の流れに合わないと感じる部分もある。</p> <p>若い世代の町内会加入について、鹿児島市の考え方や取り組みを教えてください。</p>	<p>③ 町内会の課題は、どの地域でも必ずお聞きする課題である。</p> <p>若い世代の加入率を上げるためには、引っ越してきた最初のタイミングが重要であると思う。そこで、今年度から市のホームページ上に町内会の区域図を公開するとともに、加入を希望する方は、加入申込フォームに入力いただくことで、町内会の担当の方につながる仕組みを導入した。こうした仕組みをぜひ活用いただきたい。また、うまくいっている町内会の事例を真似していただくのが良いのではないかと考えている。本年8月発行の「町内会の手引き」において、加入促進の好事例を掲載した。ぜひ参考にさせていただきたい。</p> <p>若い人が町内会を避ける理由の1つに、班長などの役員になったらどうしよう、という不安が挙げられる。役員の負担軽減を図る必要もあると考えており、回覧板や会費徴収など、どの町内会にも共通する事務をITで効率化できないか、市で仕組みを構築し町内会で使っていただく方法を検討中である。</p> <p>皆様からのご意見を踏まえ、どうすれば若い方が町内会に入りやすく、町内会の価値を認めてもらい、負担が少なくなるか、注力していきたい。</p>	市民局	<p>【市民局】 市長回答のとおり。</p>
4	森のようちえんを応援する会	<p>④ 森のようちえんとは、自然体験活動を基軸にした子育て保育の総称である。子どもたちは、継続的に自然と触れ合う中で、感性が豊かになり、自分で遊びを作る知恵がつき、体幹が鍛えられ、環境問題やSDGsについての関心、危機管理能力も高まっていると実感している。</p> <p>吉野地域には、森のようちえんに限らず、都市部に近い立地ながら奇跡的に残る森を活用した自然教育に関心をもつ園が多くある。吉野以外からもここで子育てしたいという人が集まっている。</p> <p>このような自然をベースにした子育てや自然と日常的に触れ合える機会が他の地域にも広がれば、教育の多様化や自然豊かな暮らしを市民に保障するだけでなく、鹿児島島の魅力を発信することとなり、ひいては環境問題の解決やよりよい未来につながると考える。</p> <p>コロナ禍において、世界的にも幼少期の自然体験の重要性が見直されている昨今、一つの幼児教育の新たなモデルとして、子育て中の下鶴市長にこそ視察いただき、鹿児島が持つ身近な自然のすばらしさや、豊かな森の中で子どもたちの学び、そこで育まれている生きる力を、ぜひ体感していただきたい。</p>	<p>④ 都市化が進む中で、子供たちが自然の中で暮らす環境を作るといことは、重要なことであると感じている。</p> <p>「森のようちえん」については、認可外保育施設として届出をいただいているため、ご要望・ご相談があれば、まず担当課にお伝えいただき、私もその報告を受けたい。他の園とのバランスなどもあることから、ご理解いただきたい。</p> <p>認可外保育施設については、設置後半年を経過するなど一定の要件を満たす認可外保育施設に対して、市独自の支援も行っているため、そういったところも含めて、担当課へご相談いただきたいと思う。</p>	こども未来局	<p>【こども未来局】 認可外保育施設については、保育幼稚園課職員による年に1回以上の施設訪問（立入調査等）を行っており、今後も継続して実施する。また、一定の要件を満たす認可外保育施設に対して運営費を助成しており、今後も施設に対し制度の案内を行う。</p>

## (資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	NPO法人リトルチェリーズ	<p>⑤ 「リトルチェリーズ」は鹿児島県内の小中学生によるジャズバンド（ビッグバンド）として活動している。</p> <p>以前は吉野地域でも多くのイベントに参加させていただき、地域貢献してきたつもりである。コロナの影響等もあり、活動の場所が少なく苦慮しているところである。</p> <p>メンバー募集も含め、どうすれば吉野地域の方々に音楽を還元し、楽しい音楽を共有できるか、いい知恵があればいただきたい。</p>	<p>⑤ コロナの影響で、音楽や演劇など発表系の活動をされている方が苦勞されていると感じている。少しずつ発表の場が戻ってきており、その中で披露する場ができることを願っている。</p> <p>重要なことは、イベントの主催者の方にリトルチェリーズさんの活動を知っていただくことであると考えます。</p> <p>吉野地域であれば、吉野支所内に設置している「吉野みんなの情報ステーション」で、支所管内の団体等のチラシやポスターを一定期間掲示し、情報を発信することができる。町内会やコミュニティ協議会に知っていただくことも重要だろうと思う。</p> <p>市全域では、市役所のみならず大通り別館にある「かごしま文化情報センター」において、ポスター等を掲示できるほか、ホームページ内の投稿フォームへ公演情報をご投稿いただければ、ホームページ及びSNSでお知らせを行うこともできるので、ぜひご活用いただきたい。</p> <p>本市主催のイベントとしては、例年10月に城山町で開催している「音とあかりの散歩道」で、音楽ステージの出演者を募集しているので、参考にして頂きたい。</p>	市民局 教育委員会	【市民局】 【教育委員会】 市長回答のとおり。
6	吉野中観光ボランティア	<p>⑥ 「関吉の疎水溝」を中心に、校区に位置する世界遺産に登録された場所で、観光ガイド活動を行っているが、私たちが活動をしている日曜日に、時間帯によってほとんど観光客が訪れないこともある。</p> <p>もっと多くの方々に「関吉の疎水溝」へ訪れてもらうために、鹿児島市で行っていることがあれば教えて欲しい。</p>	<p>⑥ 日頃から中学生の方々に、地域の誇る世界遺産のPRのため、ボランティアでご協力いただき、大変うれしく、また頼もしく思う。</p> <p>PRについては、地元の町内会や街づくり団体等の方々と「かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議」を作って、どうすれば魅力を発信できるか計画を立てて、発信しているところである。具体的には、リーフレットや学習用教材の作成など行っているところである。</p> <p>また、施設整備の面でも、転落防止の注意喚起看板の設置や駐車場など整備して、少しでもPRできるよう今後とも取り組んでいきたい。</p> <p>疎水溝や炭窯そのものも大事だが、大切なのはそこに込められた意味・ストーリーを多くの人に知ってもらうことだと思う。具体的には、日本の近代化の軸となる鉄をつくるために、吉野から生まれた炭や動力としての水源が大きな役割を果たしたこと。一見するとただの炭窯や水源だが、日本が諸外国に負けない強い国を作るための鉄を作っていたということを伝えたい。また、勾配がないにもかかわらず集成館まで確実に水を届けた当時の土木技術力も素晴らしい。</p> <p>これからは担う若い方々が吉野に愛着を持ち、吉野の先人たちが素晴らしかったことを思い入れをもって話していただくと伝わると思うので、これからも頑張ってもらいたい。</p>	観光交流局 教育委員会	【観光交流局】 【教育委員会】 市長回答のとおり。

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	吉野兵六会	<p>⑦ 寺山炭窯跡や寺山公園の展望台は素晴らしいものが多いが、訪れる人が少ない。 疎水溝は周囲に物産館や食事をする場所があり、まだ足を運びやすいが、寺山ふれあい公園は市民が憩える場がない。せっかく炭窯跡が復興されるが、多くの方に来ていただいて、お茶したり物販ができるような施設を寺山ふれあい公園の一部に設置を希望する。</p>	<p>⑦ 寺山炭窯跡の補修後にどれくらいの人に来てくれるのかということ、そして、地域でお金が使われることが観光では大切であると考えている。最終的に理想的なのは、たくさん人が集まるから商売になる、と民間が動いてくれるのが一番いいと思う。 まずは、寺山炭窯跡の補修をしっかり行い、多くの人が集まる状況を作っていきたいと思う。</p>	<p>観光交流局 教育委員会</p>	<p>【観光交流局】 市長回答のとおり。</p> <p>【教育委員会】 市長回答のとおり。 災害復旧の取り組みの一つである「世界遺産 寺山の森再生プロジェクト」では、地元の小中学生・町内会・民間事業者の方々にご協力をいただいているところである。 また、今年度の炭窯本体復旧工事は、公開工事とし、炭窯が復旧していく様子を多くの方に見ていただくこととしている。これらの取り組みを通して、吉野地域の文化財や自然に愛着や誇りを持っていただき、復旧終了後の寺山炭窯跡が観光地という側面に加え、地域の方々の集いや活動の場になり、より多くの人が集まる場所となるよう取り組んでいく。</p>
8	吉野兵六会	<p>⑧ 寺山展望台は、ジオパークが展望できる唯一の場であり、桜島がそばに臨める景観が素晴らしいところである。 しかし、眼下に木々が生い茂り、眺望ができない場所となっているため、整備を希望する。</p>	<p>⑧ 寺山展望台については、職員により年4回の定期的な巡回を行っており、7月末に樹木が生い茂っていることを確認したことから、眺望を確保するため、8月19日までに剪定を実施したところである。</p>	<p>観光交流局 建設局</p>	<p>【観光交流局】 市長回答のとおり。</p> <p>【建設局】 引き続き、職員による定期的な巡回を行うとともに、必要に応じて剪定を行う。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	吉野校区 コミュニティ協議会	<p>⑨ 吉野校区は1日2,000名の子ども達が登下校する。まだまだ、子ども達は増える傾向にあり、宅地が増え自家用車も増加している。</p> <p>通学路は、県道、市道共に歩道が少なく、側溝蓋上が歩道となっている。交通量の多いところでもガードレールが設置してあっても片方のみである。</p> <p>「区画整理に合わせて整備する」という説明はいただいているが、現状の危険を放置するのは、私たち校区としては看過できない。歩行者用の専用信号の設置や、歩道の真ん中に立っている電柱の移設するだけでも違う。区画整理を待たず現時点でもできる安全対策を要望したい。</p>	<p>⑨ 区画整理前の現状の危険を取り除くのは非常に重要であると考えている。いくつか処方はあるが、ガードレールなど具体的にここがという箇所があれば支所にお申し出いただきたい。信号は県警の管轄となってくるため、所管の署にお願いをして、そこから県警・公安のほうへ上げてもらう流れとなる。こちらもまず支所にご相談いただき、一緒に県警の方へ相談していきたい。</p> <p>道路の拡幅整備については、用地取得等の問題もあるため、地元町内会において地域の意見を集約いただき、要望書及び地権者の同意書を提出いただければ、整備に向けた検討を行っていく。地域の実情を一番分かっている町内の皆様で語っていただき、支所へご相談いただきたい。</p> <p>暫定でもできることはやっていきたい。</p>	<p>市民局</p> <p>危機管理局</p> <p>建設局</p> <p>教育委員会</p>	<p>【市民局】 市長回答のとおり。なお、相談内容に応じて、関係各所に内容を申し伝える。</p> <p>【危機管理局】 市長回答のとおり。</p> <p>【建設局】 各要望に対しては、個別に対応する。</p> <p>【教育委員会】 市長回答のとおり。 今後とも、学校から通学路の点検希望があった場合は、関係機関と連携を図りながら合同点検を実施し、通学路の安全確保に努めてまいりたい。</p>
10	吉野兵六会	<p>⑩ 旧街道東目筋(ひがしめすじ)の関屋谷周辺は、文化的に貴重な遺産が残っている。</p> <p>昭和30年頃は多くの人が住んでいたが、今は民家もほとんどなく、すぐ近くには産業廃棄物処理場も迫っている状況である。このままでは、この街道の道が消滅してしまうという危機感から、吉野兵六会では「歴史街道ウォーク」というイベントで歩くことで残していこうとしている。</p> <p>価値のあるものなので、きれいに整備をしていただけたらありがたい。</p>	<p>⑩ 歩行者だけが通れる市道として管理をしているが、安全に通れることが大事なので、台風や大雨等の後には落ち葉が多いことから、パトロールを強化することで、安全に通れるよう取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>重要なのは、この道の物語を吉野地域の方、市内全域の方に広く知っていただくことが必要であるので、こうした取り組みの重要性を伝えていきたい。</p> <p>また、産業廃棄物については、許可の条件として、街道に接する土地の木や森を残すこと、埋め立てた土地についても自然に戻すことになっている。それが守られるよう、法令に基づいて、指導・監督を行っていく。</p>	<p>環境局</p> <p>建設局</p> <p>教育委員会</p>	<p>【環境局】 当該街道については、景観や安全性の確保など課題があることから、新規に自然遊歩道として指定することは難しいと考えている。</p> <p>なお、市内全ての廃棄物処分場へ定期的に立入検査を実施しており、今後も立入の際には廃棄物を適正に処理するよう啓発、指導を行う。</p> <p>【建設局】 市長回答のとおり。</p> <p>【教育委員会】 東目筋は、令和3年度に文化財説明板の修繕を行ったところである。 地域に伝わる文化財を地域で守り、伝えていくための取り組みを検討してまいりたい。</p>

(資料1) 発言要旨

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	吉野校区 コミュニティ協議会	<p>⑪ 吉野校区コミュニティ協議会が設立されたH29年に地域住民へアンケートをとったところ、住みやすいと思わない理由は何か問うたところ、「スポーツ文化施設が不十分である」という回答が多かった。</p> <p>吉野地区は人口が増加する中、多目的ホールがない。100人以上収容可能な施設を造っていただき、音楽の練習ができたり、不登校児が集まれるようにしてほしい。</p> <p>「吉野いきいき公園」のある場所がちょうど吉野の中央にあたる。こうした施設ができることで、より住みやすい街になるのではないかと考える。</p>	<p>⑪ コミュニティセンター、ホールのご要望は、吉野開発促進協議会など各方面からいただいているところで、地域の皆様が熱望されていることは私も承知しているところである。</p> <p>吉野地域には、公民館の大規模改修を行い、400人収容のホール兼体育館があるので、こちらの施設を利用していただきたい。</p> <p>コミュニティセンターの建設については、財政的な厳しい事情や吉野地域で公的施設をどう配置するか、慎重な検討が必要である。具体的には、公民館や支所、福祉館など、耐用年数・寿命との兼ね合いから慎重な検討をさせていただきたい。</p> <p>皆様の熱意は非常に理解しているので、財政状況を鑑みながら、他の施設の寿命との兼ね合いを考えながら研究していきたい。</p>	企画財政局 健康福祉局 教育委員会	【企画財政局】 【健康福祉局】 【教育委員会】 市長回答のとおり。